

Hanasaka 誕生秘話

— AI に EA を作らせて、勝てなかった人へ —

花咲か爺さん FX トレード教室

EA Designer Kuu

2026 年 10 月 10 日 第 1 稿

本文の数字は Dropbox に残るファイルの日付・版番・試算から拾ったものです。将来の利益を約束するものではありません。
本教室は提携口座を通じて提供者が報酬を受け取ることがあります（PR）。

序章 「AI に頼めば EA は一晩でできる」という誤解

2026 年の春、EA 作りに AI を使う人が急に増えた。「こういうロジックで EA を書いて」と頼めば、数分でコードが返ってくる。コンパイルも通る。チャートに載せれば動く。

ただし、勝てない。

多くの人はここで止まる。3 往復、4 往復して「AI じゃ無理だ」と結論を出す。EA Designer Kuu のフォルダーには、その「止まらなかった記録」が残っている。最初のログは 2026 年 6 月 6 日。最後の版は 10 月 10 日。その間に残ったソースファイルは約 200 本、版番を合計すると約 240 版になる。

これは、その 120 日の話である。

第 1 章 6 月 PW MTF — ルールが生まれた日

6 月 6 日、WORK_LOG というファイルが初めて作られた。中身は「Ver1.33 EA BTCUSD MTF FIX」。つまりこの時点で、すでに 33 版を重ねていた。翌 7 日には 1 日で WORK_LOG が 8 本。版は 1.34 から 1.39 へ。6 月 10 日には 1.43。

この頃、ひとつの転機があった。「MAIN_RULES.md」というファイルだ。AI に毎回同じ失敗をさせないための共通ルール。銘柄ごとに版を分ける、設定ファイルの命名、納品の手順。人間が AI に「覚えておいて」と頼んでも、AI は次のスレッドで忘れる。だから紙に書いて、毎回読ませる。

MTF は MTF2、MTF3 へと分岐し、7 月 16 日に MTF2 の版番は 1.85 に達していた。

第 2 章 7 月 PW MTFS — 初日に 15 版

7 月 18 日。新しい製品「PW MTFS」の初日に、EA が 8 版、インジケーターが 7 版上がっている。1 日で 15 版。

同じ日に仕様説明書も 7 本。版を上げるたびに「何を変えたか」を文書にする習慣が、ここで固まった。MTFS は有料で販売され、7 月 20 日に 7 版、23 日に 6 版と駆け足で育ち、8 月 9 日の Ver1.26 でいったん落ち着く。

AI との共同作業で最初に身につくのは、コードの書き方ではない。「1日 15 版を普通だと思う」感覚と、「変えたことを必ず書き残す」癖だった。

第 3 章 8 月 PW GoldCockpit — 28 日で 27 版、土台が完成する

8 月 4 日から 31 日まで、GoldCockpit EA は Ver1.01 から Ver1.27 まで駆け上がった。28 日で 27 版。

この製品の価値はロジックではなく「土台」にあった。口座認証、注文が詰まらない非ブロッキング決済、複数端末で同じ口座を使うときの執行権、画面サイズに合わせる UI 倍率、設定の記憶、クオートの鮮度確認。地味だが、ここで作った基盤はその後のすべての EA に引き継がれ、いまの Hanasaka EA の中にも生きている。

フォルダーには「GoldCockpit 不具合」という名前の箱があり、8 月 4 日の操作ログとエキスパートログが入っている。不具合を隠さず箱に入れ、ログを AI に読ませて直す。マニュアルは Ver1.18 から 1.19 まで 4 回改訂された。

第 4 章 9 月 PW TrendSign — 7 年分の 1 分足と向き合う

8 月 31 日、ラチェット型トレンドラインと 20 本ブレイクアウトという、いまの Hanasaka のロジックの原型が生まれた。「PW TrendSign」。翌 9 月 1 日には、GoldCockpit の土台にこのロジックを載せた Cockpit EA が 1 日で 7 版。9 月 10 日にはインジケーターが 1 日で 12 版。

この月の仕事は、コードよりも検証だった。2019 年から 2026 年までの 1 分足データを AI に渡し、EA とまったく同じロジックを別のプログラムで機械的に再現させる。EA が画面に出す成績は信じない。実際の約定と試算が 95% 以上一致して、初めて「数字」と呼ぶ。

試して捨てた案も、すべて記録に残した。利確注文、トレイリング、1 分足での執行、時間帯フィルター、買いだけ、金曜クローズ、分割決済、押し目エントリーの各種……20 を超える「不採用リスト」。AI は過去に捨てた案を新鮮な顔で再提案してくる。リストがあれば「それは 9 月に試して負けた」で終わる。

9 月末には、6 つの時間足で動く自動売買 PTSC Auto が 12 版、押し目研究のテスト EA が 6 版。製品別の進捗ファイルは 12 本になった。新しいスレッドは、この 1 枚を読んでから再開する。

第 5 章 10 月 Hanasaka — 教室のために生まれ変わる

10 月 5 日、PW TrendSign は「Hanasaka」に改名された。花咲か爺さん FX トレード教室で、手法とツールを無償で配るために。

6 日間で、インジ 3 版、EA 5 版、Auto 2 版。基準となる口座タイプを変えて最適化をやり直し、半自動ボタンを付け、手動エントリーの損切りを残高の%で決めるようにし、押し目タッチ方式を加えた。決定事項は D-001 から D-027 まで台帳に残り、「決めた人」の欄はすべて「空」。AI は案を出し、試算し、反対もする。決めるのは人間だ。

そして 10 月 10 日。7 年 9 か月を通したバックテストで、Hanasaka Auto は 1,785 回、総損益 + \$2,756/oz、PF1.40 という数字を出した。金が横ばいだった 2022 年は -\$41。隠さない。2025 年からの 21 か月は +\$2,334/oz、PF1.73。21 か月のうち 17 か月がプラス。

終章 240 版が教えてくれたこと

Hanasaka の 4 か月を数字にするとこうなる。

項目	数
期間	2026 年 6 月 6 日～10 月 10 日（約 120 日）
世代交代	MTF → MTFS → GoldCockpit → TrendSign → Hanasaka の 4 回
残っているソース	約 200 ファイル、版番の累計 約 240 版
設計書・ログ・進捗・マニュアル	約 120 本
1 日に 7 版以上上げた日	少なくとも 5 日（最多は 1 日 12 版）
共通ルール	14 本以上。すべて失敗のあとに書かれた
不採用リスト	20 案以上
検証データ	2019～2026 年の 1 分足 約 276 万本

AI は速い。1 日に 12 版を書ける。だが AI は忘れるし、同じ失敗を繰り返すし、自分の書いたバックテストを信じ込む。だからルールを紙に書き、進捗を 1 枚にまとめ、捨てた案をリストにし、EA の数字を別のプログラムで照合し、判定日を先に決めた。

Hanasaka は、AI が作った EA ではない。AI と人間が、120 日間、毎日往復を止めなかった記録そのものだ。

教室では、この EA とインジケーターを無償でお渡しする。使ってみたい方は、公式 LINE からどうぞ。

本記事に記載した成績はすべて過去データの試算であり、将来の利益を保証するものではありません。Hanasaka Auto はフォワードテストの途中（判定 2027 年 4 月）です。自動売買には損失のリスクがあります。本教室は提携口座を通じて提供者が報酬を受け取ることがあります（PR）。